

デジタル・マルチメータ

VOAC7411

VOAC7411, 7412, 7413, 7510, 7511, 7512, 7513は、普通計測の商標です。

品番	GP-IBボード	価格	動作環境
W32-7411-R	ラトックシステム社	50,000 円 (消費税は含まれておりません。)	Win98SE/Me Win2000/XP Excel2000 Excel2002/2003
W32-7411-C	コンテック社		
W32-7411-N	NI社		
使用できる機種		VOAC7411, 7412, 7413, 7510, 7511, 7512, 7513	

機能

データロガーとしての活用

指定された時間間隔で指定された個数のデータをリアルタイムにExcelシートに取込みます。

製品検査への活用

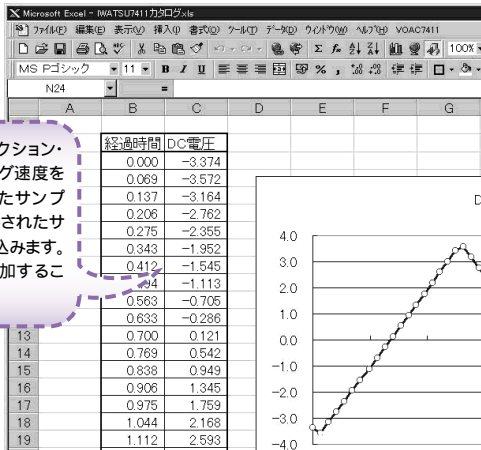
被測定物を取り換えながら、個々のデータをExcelシートに取込みます。



注)GP-IBユニット「SC-303A」が必要です。

概要

スタートすると、ファンクション・測定レンジ・サンプリング速度を設定した後、指定されたサンプリング時間間隔で、指定されたサンプル数のデータを取込みます。必要なら日付時刻も付加することもできます。



本プログラムはExcel上のアドインとして動作します。Excel上から本アドインを起動すると、Excelシート上に、このウィンドウが現われます。ファンクション、測定レンジ、時間間隔、取込回数等を設定し「START」ボタンをクリックするとデータの取り込みを開始します。

Excelシートに取込んだデータは、キーボードから入力したデータと同じように、Excelの機能を利用して、作図・編集・計算等を自由に行うことができます。また、事前にデータが取込まれる領域をExcelのグラフウィザードで設定しておけば、データ取込とグラフ化がリアルタイムに行えます。本アドインに自動グラフ作図機能はありませんので、Excelのグラフウィザードを使用して作図してください。



測定中は、データ表示を邪魔しないように、ウィンドウは下図のように縮小表示となります。

操作説明

- 測定器からデータの取込を開始します。
- 測定中は「赤色」、ポーズ中は「青色」、停止中は「灰色」となります。
- 測定ファンクションを設定します。
- エレクトロメータ本体で設定したGP-IBアドレスと同じ値を設定します。
- 測定レンジをAUTO/MANUALで切替えます。AUTOのチェックを外すとレンジ入力用テキストボックスが現れますからレンジをキーボードから入力します。厳密な値を入力する必要はありません。入力された値に一番近い1つ上のレンジに設定されます。
- サンプリングレートを設定します。
- データの入力と共にシートをスクロールします。
- 経過時間(連続番号)を付加します。
- トリガモードを設定します。通常は「HOLD」にします。「外部端子」を選択すると、測定器のリアーBNCからのトリガ入力に同期してサンプリングが行われます。
- マルチメータの機種を設定します。
- データの取込を一時中止します。もう一度クリックすると、取込を再開します。
- データの取込を停止します。
- 測定中、間欠時間が2秒以上の時、サンプリングまでの残り時間をカウントダウンします。
- 「PAUSE」中、有功となり、クリックする毎にデータを取込みます。
- 測定中、取込の残り回数を表示します。
- Excelシート上のカーソルを左右・上下に移動してデータ取込開始位置を決定します。「Start」ボタンをクリックするとカーソル位置から下方向へデータを取込みます。
- データを取込む回数を指定します。但し、「STOP」ボタンでいつでも中断できます。また、何も入力されていないときは、64000回と解釈されます。入力できる最大回数は、64000回です。
- データを取込む時間間隔を秒の単位で入力します。ここで入力した時間と実際の時間間隔では若干の差異が発生します。何も入力が無い場合やゼロが入力された場合は、最速でデータを取込みます。入力できる最大時間は、3600秒です。
- データに日付時刻を付加します。
- 最初のデータ取込時、測定項目名等のヘッダを付加します。
- アドインを終了します。

スポット専用測定モードの使用法

「PAUSE」ボタンを先にクリックして、その後「START」ボタンをクリックすると「スポット専用測定モード」になります。マルチメータの設定が行われた後、「SPOT」ボタンのクリック待ちとなります。「SPOT」ボタンをクリックする毎にデータがExcelシートに取込まれます。この時「SPOT」ボタンをクリックする代わりに「スペース」キーを押しても同様の結果となります。この「スポット専用測定モード」では、「経過時間」の欄には「1.2.3...」と「連続番号」が入力されます。例えば、被測定物を取り換えながら、個々の被測定物の測定を行う場合に便利です。「スポット専用測定モード」を終了するためには、「STOP」ボタンをクリックします。トリガが「外部端子」に設定されていると、1度だけ「SPOT」ボタンをクリックすると、次回から外部端子からのトリガ信号だけでサンプリングが行われます。

注)デリミタは、LF + EOIを使用します。